

2001年3月27日

各 位

日立電線株式会社
(コード番号 5812)
住友電気工業株式会社
(コード番号 5802)

高圧電力用電線等の事業統合について

日立電線株式会社(社長 原精二、以下日立電線)と住友電気工業株式会社(社長 岡山紀男、以下住友電工)は、昨年4月以降両社の担当役員をトップとする検討委員会において、高圧電力用電線事業等に関する包括的な事業統合、すなわち品種毎の製造再編等と共同事業会社の設立について検討を進めてきましたが、今般諸条件について合意に達し、合併事業契約を締結しました。

1. 事業統合の範囲と製造の再編

(1) 事業統合の内容

両社は、下記高圧電力用電線等の研究、開発、設計、製造、工事及び輸出事業を、共同事業会社に移管・集約致します。日本国内での販売については、公正取引委員会のご判断に基づき、従来どおり日立電線及び住友電工がそれぞれ行います。

- ・電力ケーブル(OF、CV、屋外用電線)
- ・架空線(ACSR、OPGW)
- ・付属品(地中線及び架空線の接続部材等)

(2) 製造等の統合・再編

高圧電力用電線の事業は、国内市場における需要の大幅な減少と輸出における競争の激化に伴い、設備過剰の状況にあります。今後の需要環境は一段と厳しくなるものと予想されることから、両社で品種毎に生産を一事業所へ統合することを基本とし、設備等を需要減に応じた適正規模にします。

品種毎には、電力ケーブルは現在の日立電線の日高工場と住友電工の大阪製作所で製造を分担し、架空線は日立電線の豊浦工場に統合します。

これに伴い、日立電線は日高工場の製造を再編、また住友電工は横浜製作所の電力ケーブル工場、大阪製作所と生産子会社である富山住友電工(株)にある架空線工場を閉鎖致します。

付属品、工事についても両社の製造、設計を統合・再編致します。

(3) 事業統合の目的

この統合により、両社の優れた技術開発力を継承・発展させるとともにコスト競争力を強化し、ユーザーへの安定供給と一段のサービス向上を図ります。

また、両社はこの統合に伴い余剰となる人員等の経営資源を情報通信等の伸長分野に最大限有効活用致します。

2. 共同事業会社の設立

両社は、公正取引委員会のご判断を受けて、電力用電線事業につき、国内においては販売を除き開発、設計、製造及び工事を、輸出においては全てを共同事業会社に移管し、本年10月に事業をスタートさせる予定です。

共同事業会社の概要は、下記のとおりです。

- ・商号 : 株式会社 ジェイ・パワーシステムズ(仮称)
- ・営業開始 : 2001年10月1日(予定)
- ・資本金 : 40億円(予定)
- ・株主 : 日立電線50%、住友電工50%
- ・社長 : 日立電線、住友電工交互に出す。初代社長は住友電工から出し、日立電線からは副社長を出す。
- ・役員 : 取締役は10人以内。日立電線、住友電工同数とする。
- ・本社 : 東京都港区三田三丁目13番16号(予定)
- ・組織 : 本社のほか、日高(茨城県日立市)、豊浦(茨城県日立市)、大阪(大阪市此花区)の3事業所をおく。
- ・従業員 : 約700名(2001年10月1日現在、日立電線、住友電工より出向)
- ・売上高 : 約600億円(2002年度目標)

以上

本件に対するお問い合わせ

日立電線株式会社	総務部広報グループ	TEL:(03)5252-3261
住友電気工業株式会社	東京総務部総務課	TEL:(03)3423-5221
	広報室	TEL:(06)6220-4119

【語句説明】

[1] O F ケーブル (Oil Filled Cable)

ケーブルの絶縁体として油浸紙を使い、その中に空隙が発生しないよう絶縁油が満たされたケーブルです。外部に設置した油調整タンクによって常に一定の圧力を加え、温度変化等に対応できるようにになっています。わが国では 500kV まで実用化されており、大容量の送電に適し、都市部の地中送電や海底ケーブルに使用されています。

[2] C V ケーブル (Cross-linked Polyethylene Insulated Power Cable with Polyvinyl Chloride Sheath、架橋ポリエチレン絶縁ビニールシースケーブル)

ケーブルの絶縁体として、ポリエチレンを架橋し分子を網目状構造としてポリエチレンの欠点であった熱軟化性能を大幅に改善した架橋ポリエチレンが使用されています。このケーブルは 600V ~ 500kV の広い電圧範囲で使用されており、ビル・工場の配線や配電線路、都市部の地中送電線路他に広く使用されています。

[3] A C S R (Aluminum Conductor Steel Reinforced、鋼心アルミより線)

中心に垂鉛めっき鋼線をより合わせ、その外側に硬アルミ線をより合わせた、絶縁被覆をしない裸電線です。高い鉄塔に架設される架空送電線に使用されています。

[4] O P G W (Optical-fiber Composite Overhead Ground Wire、光ファイバ複合架空地線)

光ファイバをアルミ管で保護し、その上にアルミ覆鋼線をよりあわせた構造をもつ電線で、鉄塔の最上部に架線されます。避雷線と通信線の機能をあわせもっています。